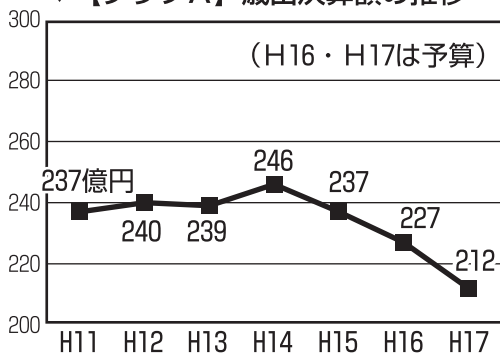


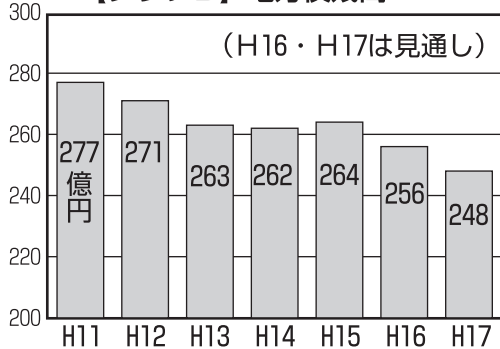
# さらなる財政健全化を進めます



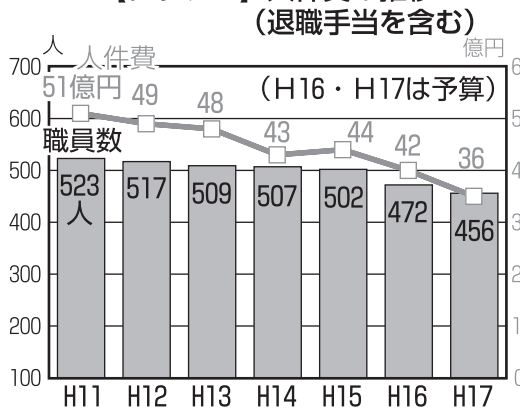
▼【グラフA】歳出決算額の推移



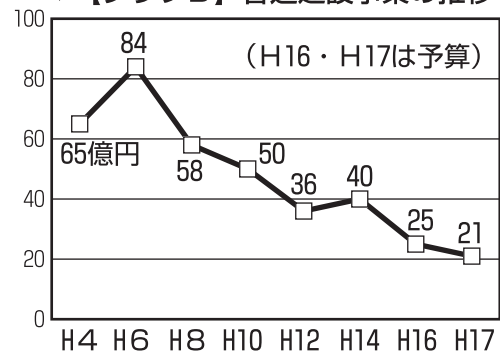
▼【グラフB】地方債残高



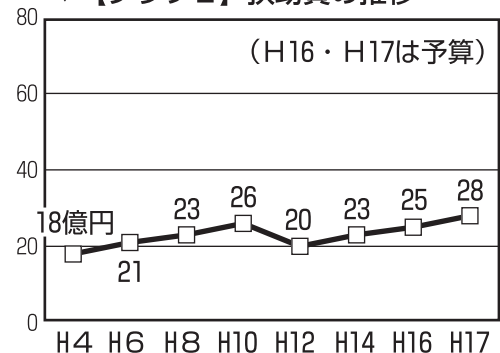
▼【グラフC】人件費の推移 (退職手当を含む)



▼【グラフD】普通建設事業の推移



▼【グラフE】扶助費の推移



笠岡市のみならず、国・地方を取り巻く財政状況は、大変厳しいものとなっています。笠岡市では、県下でもいち早く、平成15年度に財政健全化計画を策定し、人件費の見直しなどを行い、最重要課題として、財政の健全化に取り組んでいます。その進捗状況をグラフに表しながら説明します。

まず、グラフAでは、一般会計の歳出決算額を示しています。平成17年度当初予算の総額は、健全な財政基盤の確立に道筋をつけるため、昨年度に引き続き、さらに抜本的な改革に取り組みました。その結果、グラフには示されていませんが、平成4年度あたりの規模になりました。

グラフBは、地方債残高、いわゆる市の借

金の推移ですが、財政健全化を進めるなかで、新たな市債の発行を抑制していることにより、着実に減ってきています。

グラフCは、市職員の人件費と職員数の変化です。職員の採用については、退職者補充を3年間行うことにより50名以上の減、また各種手当のカットなどにより、人件費の抑制に努めています。

グラフDでは、普通建設事業の推移を表しています。笠岡市では、福祉と教育を全面的に推進していることから、普通建設事業などは、早くからその重点化に着手しており、ピーク時の平成6年度に比べ、17年度では、約4分の1となっています。

グラフEは、扶助費の推移です。扶助費は簡単に言えば、福祉関係の予算です。高齢化の進展や支援費制度の開始に伴い、増加しています。平成12年度の一時的な落ち込みは、